

報道各社御中 環境省広報室

青森県での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う野鳥緊急
調査チームによる調査の結果について
(H28.12.6 17:30)

青森県青森市の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザおよび鶴田町、同市での野鳥の高病原性鳥インフルエンザウイルス疑い事例(No.26、No.40)の発生を受けて、12月1日(木)～6日(火)に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況等の調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

1 調査結果

12月1日～6日にかけて、青森県青森市等の発生等地点周辺半径10km圏の野鳥監視重点区域内および周辺の、渡り鳥の飛来地等の計37地点において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。野鳥の大量死は認められなかった。

(参考)

観察された鳥類 65種
うち、リスク種1 10種(オオハクチョウ、マガン、ヒシクイ等)
リスク種2 9種(オナガガモ、マガモ、カンムリカイツブリ等)
リスク種3 18種(カルガモ、コガモ、オオセグロカモメ等)

*本調査結果は暫定値です。

*リスク種とは:「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、青森県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成28年12月6日(火)
自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室
直 通: 03-5521-8285
代 表: 03-3581-3351
企 画 官: 東岡 礼治 (内線6475)
鳥獣専門官: 根上 泰子 (内線6676)

東北地方環境事務所野生生物課
直 通: 022-722-2876
課長補佐: 西野 雄一
自然保護官: 木村 慈延